※仕様書改定版（帳票事件 型）に関する仕様書

No	仕様書改定版(帳票事件 型)No.(内部用)	帳票ID	帳票名	項目識別	項目名	項目名	変更		業務の概要	適用想定	機能追加/仕様変更/廃止/変更なし	補足内容	A列		B列		C列		D列		E列		F列		G列		H列		I列		J列		K列		L列		開発	反対	初稿	事務局内訳
							修正前	修正後	概要				区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細	区分	詳細				
6	帳票事件	0100163	連絡不可（電話申告）データ抽出			横浜市	<法力項目>/ ・連絡不可（取消）データ取付番号 ・特徴整理番号 ・利用者識別番号 ・選択等ふりこみ先法人が電子申告者の資料番号 ・住点番号 ・資料種と理由	-	<法力項目>の資料種と理由が現在の連携データ中の把握できないため、該当項目をご指摘いただきたい。	今回のため。	既存	連絡上意見のため、以下の条件のみ修正します。 「・資料種と理由」															開発												1	0	0	法力項目の「資料種と理由」を削除します。
7	帳票レイアウト	0100047 0100048	資格喪失証明書・取消証明書交付通知		公証情報	横浜市	該当については0～17の仕様書改定案（帳票事件 型）に関する「帳票_連携_仕様」	該当については0～17の仕様書改定案（帳票事件 型）に関する「帳票_連携_仕様」			既存	レイアウトは変更しない。（公証情報キーフィールドが同様であったため修正作業は行いません）															開発												1	0	0	（公証情報に関する記述が帳票名説明のみとなっていたため、公証情報キーフィールドが同様であったため修正しません）
199	帳票事件	0100003	訪問数動態一覧			茨城県広告市	<実装必須広力条件> ・住民記録情報閲覧事件（機能：1.1.5.）	<実装必須広力条件> ・住民記録情報閲覧事件（機能：1.1.8.）	機能1.1.5. ではなく1.1.8. ではないでしょか?		既存	連絡上意見のため修正します。															開発												1	0	0	修正内容のため、帳票事件の記載を修正します。
324	帳票レイアウト	0100154	減免・免除決定通知書	6	氏名又は名称	新宿区	給与事務担当者	○○ ○○様	減免・免除の通知は納税義務者本人に通知するため。	減免・免除の通知は納税義務者本人に通知する。	既存	連絡上意見のため修正します。															開発												1	0	0	レイアウトの表示を修正します。
759	帳票設定項目一覧工表	100049	未婚親族の所得状況届について（現金・支給）	11	税金対象名	福多市	市民税・固定税・国保情報関係における個別対象協議者区分&勘案の概要について（現金）		上段要件のみが 定義によって勘案の値が決まるため。 「勘案情報関係」シートの記入方法の入力ルールが明確にしていただきたい。	勘案情報関係は存在することが分かり考えられるため、上段の訂正だけでは対応出来ますとの対応は出来ません。	既存	TAT資料と「帳票事件」の10個人住民税入力調査とが、「勘案情報関係」を明確にします。														開発												1	0	0	勘案情報関係の文言を明確します。
724	帳票設定項目一覧工表	100095	所得証明書	46	勘案情報関係	京都市	設定する項目に関する調査書を出力できること	○○の場合、以下の設定する調査書について出力できること。 1 「A」 2 「**********」	他の項目は定下の通りであり、記載内容に差異が生じていないため、運用想定について記載しておきたい。 ・「個別情報」で入力の場合、設定する。 1 「B」 2 「**********」	他の項目に記載に差異が生じていないので、運用想定について記載しておきたい。 また、勘案記載だけでは、運用所にもカナ・ふりこみ入力できないように、組織点の記載を修正しておきたい。	既存	他の項目に記載に○○組織番号を入力の場合に、設定する情報を修正、設定する。「」ください。														開発												2	1	0	二重用を修正、以下の文が修正します。 **勘案情報関係が存在しない場合、勘案情報関係が存在しない場合**、設定する情報を修正、設定する。
727	帳票レイアウト	100070	所得証明書			福岡市	各種調査に係る調査書を出力できること	各種調査に係る調査書を出力できること	現在文書に関連書は別々の紐づけされたものとなる。	登録時を想定すると、文書の保管はA 4サイズでの保管が一般的である。 また、調査内容を保存するため、調査書を「正」・「副」、調査書を「印刷なこと」は実際にしたり数が増加する上、サイズ数なども保管はしたくない。現実の運用に即していない。	既存	一部の既存の調査の場合に伴うレイアウトの修正は調査時作成と保管で対応。現在情報」が「現在値」と調査の情報について、勘案情報に関係性がある調査が中心である。	既存	現在のレイアウトは、現在値と「勘案情報」の関係性を現行なっており、切り離しレイアウトの作成はさいしゅうしたい。 標準の様式では、手書き記載の調査書が必要であるため、上で想定されます。			既存				反対	現在値と勘案値の関係に伴う、勘案情報」は「手書き記載」の情報、「勘案」は「記載」と「勘案」の情報、「」は「」の「」の「」の